

7月24日：VN指数は1,200ポイントに向かい上昇（VN指数+0.41%）

- 先週末の上昇トレンドが続き、VN指数は上昇して取引が始まった。
- キャッシュフロー流入が加速し、午前中は堅調な値動きとなった。
- 午後に入ると一転、利益確定の動きが強まり、指数は下落に転じる場面もあった。
- 下落すると、押し目買いが入り、指数は反発した。投資家の楽観姿勢を表した動きだった。
- 騰落別では幅広い銘柄が買われており、301銘柄が上昇、154銘柄が下落した。71銘柄は変わらずだった。
- 午前中に流動性も改善したが、午後に入ると落ち着いた。売買代金は前日とほぼ同様の20兆ドンだった。

VN30指数も続伸（VN30指数+0.55%）

- 時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成するVN30指数は、16銘柄が上昇、12銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。
- 不動産株のNVL（+6.9%）、PDR（+2.6%）と銀行株のVIB（+2.2%）、VPB（+2.1%）が指数を大きく押し上げた。MWG（+3.8%）も午後に入り大きく上昇した
- 一方、大きく下落したのはVJC（-1.2%）のみに留まった。

セクター・個別株の動き

- 米輸出業に携わるLTG（+8.0%）、PAN（+6.5%）、TAR（+9.8%）の3銘柄は、米国のコメ輸出禁止を受けて急騰。輸出米の価格は10年来の高値に達している。

- ロンタイン空港建設の競合各社がまちまちの動きとなった。CTD (-6.9%) と HBC (-3.2%) が属する Hoa Lu 合併事業は下落、VCG (+6.8%)、PHC (+7.0%) の VIETUR 合併は大幅高となった。
- 外国人投資家は 3,390 億ドンの売り越しに転じた。MSB (+2.6%) と SSI (-0.2%) が売られていた。一方、目立った買い越し銘柄は無かった

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。